

授業概要

本講義では、租税法について、法律学の基礎ともなる総論的な事項について講義を行うとともに、個別の租税実体法を学ぶ入口として、学生にも身近な消費税を取り上げて講義を行う。

これまで税というものにあまり関りや関心がなかった学生でも、いずれ近いうちに納税者となり、否応なく税とかかわりを持つことになる。税とは何なのか、税はどうして負担しなければならないのかから始め、主要な税に関する基礎知識を学習する。

授業計画

第1回	租税の役割と目的
第2回	租税の意義・種類
第3回	租税の根拠と日本の財政
第4回	租税法の法源
第5回	租税法の基本原則その1－租税法律主義とは
第6回	租税法の基本原則その2－租税法律主義の内容
第7回	租税法の基本原則その3－租税公平主義とは
第8回	税理士による特別講義
第9回	水平的公平と垂直的公平
第10回	租税法の解釈と適用
第11回	消費税の仕組み
第12回	消費税の課税標準と税率
第13回	消費税の計算方法（1）－売上税額・仕入税額控除
第14回	消費税の計算方法（2）－軽減税率制度
第15回	総まとめ
第16回	期末試験

到達目標

1. リーガルマインドを醸成する。
2. 租税の役割や根拠を理解する。
3. 憲法と租税法との関りを理解する。
4. 経済活動や日常生活と租税の関係を理解する。

履修上の注意

教科書は使用しないが毎回レジュメ等を配布するので、それをファイルして毎回の授業に持参すること。
また、講義の後半にその時々で話題となっている法律・会計・企業活動等に関する事柄を取り上げて授業を進めることがあるので、新聞等にできるだけ目を通しておくこと。
期の途中で一度、税理士による特別講義を予定している。

予習・復習

レジュメ等を配布して授業を行うので、毎授業後の復習が必須である。

評価方法

中間段階の試験（30%）、期末試験（70%）で評価する。授業への貢献により加点することがある。

テキスト

テキストは使用しない。毎回レジュメ等を作成して配布し、授業を行う。